

議長（志村 忠昭）

これをもって、6番村岡清邦議員の一般質問を終わります。

次に7番、小川保君。

議員（小川 保）

失礼致します。7番、小川保です。

いよいよ秋会期の瀬戸芸高見島が始まります。

私も本日胸に缶バッジを付けさせて頂いております。

丸尾町長も胸に付けております。

それからそれぞれの方々は名札に付けておりますよね。

実はこういうのを付けておりますと色々な場面でこれは何ですかというふう
に聞かれます。

ありがたいことに、そういうふうに聞かれると相手と私の距離が近づくとい
うことで会話も弾みますので、皆さん方の名札だけでなく普段の時にも付け
ていただくということもよろしいかと思えます。

丸尾町長、色々とそういう場面があろうかと思えます。

もし回答の冒頭にちらっとお話いただいてもよろしいかと思えます。

さて本日は、1点だけです。

多度津山の多目的広場、サッカー場の芝生化についてを質問致します。

本件は昨年6月の定例議会にて質問致しました。

その折に発言したことを再度確認しておきます。

一つ、土曜日・日曜日には多くの児童たちが練習や、大会などで利用されて
おります。

一つ、そして様々な屋外イベントに利用されている。さくら祭りの展示、凧
揚げ、その他、災害発生時には避難場所、緊急ヘリポート、など用途が設定
されています。

一つ、足元は水はけの悪い土であり、利用する際にも関係者は天候を心配し
て、一雨降ればぬかるんだ泥だらけの状態であり、雨の無い時は、この土が
風によって舞い上がり、隣接の消防庁舎に降り注ぐことになり、新しいシス
テムに悪影響が懸念されております。

一つ、近隣の住宅にも飛散しており黄砂の時期でもないのに砂土が降る。こ
れらの事を考えますと、一刻も早く解決すべきであります。

芝生化する事によりまして、かなりの部分が解消出来ると申し上げました。

さて、香川県には地域プロスポーツチームとして、野球の「香川オリーブガ
イナーズ」を始め、サッカーの「カマタマーレ讃岐」、バスケットボールの
「高松ファイブアローズ」、アイスホッケーの「香川アイスフェローズ」な
どがあります。

これだけの種目のプロチームがあるという事は香川の誇りであります。
また、地域活性化のツールとして、地域も支えていく必要があります。
そして社会人のアマチュアチームにも素晴らしいサッカーチームがありま
す。

「多度津フットボールクラブ」です。

多度津の名前を冠にして戦っており、時折、多度津中学校のサッカー部活動
も指導して頂いているようです。

おかげで、多中のサッカーチームもかなり力が付いてきたようです。

実力のある社会人チームの指導を受けるなど、多度津の為に活動して頂いて
いるようなものであります。

多度津FCについて説明致しますと、四国社会人サッカーリーグに所属して
おり、かなりの実力チームであります。

リーグ戦を戦ったり、天皇杯優勝を目指してプロチームとの試合も頑張っ
ております。

実はそれらの試合も高松市の生島にある香川県総合運動公園などで開催され
ているようです。

多度津山の整備により、それらの試合の開催が可能でありましょう。

その折には多度津のジュニアが「エスコートキッズ」として入場のお手伝い
に選ばれるとうれしいですね。

間に合えば4年後の東京オリンピックの各国の代表チームの合宿地にも手を
挙げられるのではないのでしょうか。

町の活性化と住民の安心安全、健康増進、子供達の健全育成など、数え上げ
れば沢山の効果が期待できます。

さて、ここで丸尾町長に質問致します。

昨年6月定例議会においての質問・回答などを踏まえて、改めて今後の考え
方、方針などをお話し頂ければと思います。

よろしく申し上げます。

町長（丸尾 幸雄）

小川議員ご質問の「多度津山多目的広場、サッカー場の芝生化について」
の件について答弁をさせていただきますが、その前にバッジ、ワッペンにつ
いてご質問がありましたので、そのことについてまず答弁をさせていただきます。

これは瀬戸内国際芸術祭に参加しているところ、県も含めて皆さんがこれを
付けておりますが、これは高見島だけなんです。

これは秋開催の高見島のここに小さい字で高見島と書いています。

ですから、今浜田知事が付けているバッジとこれとは違います。

浜田知事が付けているのは全体的なもの、今だと夏開催ですのでブルーだったか、ちょっと色は忘れましたがブルー系統の色になっています。

これは全体的にも赤もあるんですが、それぞれの会期に合わせてやっておりますので、どうか皆様方もぜひご理解をいただいて、今度10月8日から11月6日まで秋開催、高見島で行いますのでぜひ宣伝の為にも付けていただけたらと思います。

先程小川議員のお話にもありましたけど、これを付けているとこれは何ですかと聞かれます。

その時には高見島の宣伝もできるし、それと瀬戸内国際芸術祭、また京都精華大学の話もできますので、それぞれの話題が広がっていくと思います。

その中で色々と親近感にも繋がっていき、高見島に来島される方も増えていくのではないかなと思っておりますので、ぜひよろしくお願いを申し上げて、本題のご質問に対する答弁とさせていただきます。

昨年の6月定例会で答弁させていただきましたとおり、消防庁舎に面している側の1面を、スポーツ振興を目的として、「日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ」及び「日本サッカー協会」の助成金を活用しての、芝生化の検討を進めております。

社会教育の観点から見ましても、多度津町の子ども達の教育に大変重要な場所となると考えており、サッカーはもとより、多目的な運動施設として利用できればと考えております。

また、災害発生時における、町民の避難場所にもなることから、積極的に芝生化を進めて行きたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

議員（小川 保）

ありがとうございます。

丸尾町長のお話を受けて、担当部門に質問を致します。

町長の考え方、方針などを具現化するにはどのように進めていくのでしょうか。

具体的方策を政策企画課の調査事項と今後の方針スケジュールなどをお聞かせ下さい。

よろしく申し上げます。

政策企画課長（河田 数明）

小川議員のご質問に、答弁をさせていただきます。

まず、多度津山サッカー場の芝生化の担当部署として、多度津山整備につきましても、多度津町における懸案事項の一つであることから財政部局及び教育部局との調整を図りながら、政策企画課で行うこととしております。

多度津山サッカー場は、関係者の方々の努力によって大きなサッカー大会も開催され、長年サッカー場としての実績をあげてこられたこともあり、町といたしましても、トイレ等の整備を行うなどの支援をしてまいりました。

先ほどの町長の答弁にもありましたとおり、この土地をこのままの状態ではなく、町の活性化につながるよう、幼稚園、小学校、中学校及び高校など、子ども達のスポーツ振興の場として、また他市町との交流の場など様々な活用が出来る施設として、整備して行きたいと考えております。

また、芝生化することにより、現在発生しております消防庁舎や近隣住宅への砂塵飛散の解消にもつながると考えております。

現在行っている具体的な調査事項といたしましては、芝生及び設置施設等の、種類並びに規模についてランニングコストを含めて比較検討するための調査を行っており、今後のスケジュールといたしましては、この調査を基に早急に方針を決定し、基本計画、助成金の申請維持管理方法などの検討を進めることとしております。

多度津山サッカー場の芝生化をはじめ、さらに周辺環境を整備することで、住民の憩いの場や様々な行事及びイベント会場としての利用、また、災害時の避難場所としての利用などの有効活用が出来るように整備を行いたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（小川 保）

ありがとうございます。

本件は政策企画課が建設なども含めて全ての業務を受け持つわけですね。

さて政策企画課にはさぞかしたくさんのメンバーがおいでですね。

それでよろしいかなと私は疑問に感じております。

総務課が町行財政のCPU的中心部局であるに対して、政策企画課は言うなれば町行政の施策提案部局であります。

世情に対してたくさんの触手を伸ばし、そこから創造的なアイデアを企画し、他の部局と共に第一歩の旗を振り揚げる先進的存在であります。

また現状からの不備を修正し、全体調整案を町長に進言する部局でもありません。

その部局が本件のような大きな事案を一身に任されておっては身動きがとれません。

町長に提案致します。

今後調査など企画作業が進みましたら、関係部局とプロジェクトチームを立ち上げて、水平展開をしていただき、こういったことは要望でございます。

よろしくお願ひしたいなと思ひます。

さて、本件に関連して田尾教育長にも質問させてください。

あらかじめお手元に配布させていただきました新聞のコピーですね、今朝ですが急にコピーさせていただきました。

この記事は「はだしフェスタin坂出2016」が9月11日日曜日坂出市番の州緑町の瀬戸大橋記念公園でありました。

昨日の四国新聞にこの記事が掲載されておりました。

子ども達が足の裏で芝生の感触を確かめながら、ランニングやゲームなどに取り組み、笑顔と歓声が広がると。

裸足で身体を動かすことで子ども達の健康づくりやけがの防止を図ろうと昨年から開催しているとのことです。

ランニングの講習会では、講師の指導のもと子どもたちが元気よくスキップや小走り、両足とびなどを体験し、追いかけてこのゲーム版の尻尾取りゲームなどを楽しんだということが紹介されておりました。

参加した小学生の一人は、裸足で芝生にいるのは気持ちいいなどの感想もあったようです。

本件は教育施設です。

文科省が学校教育現場での校庭芝生化につき過去に推進提言があったと思いますが、さて、それを多度津町の全ての幼稚園、保育園、小学校、中学校これらの運動場を芝生化するとすれば、相当の財力が必要とします。

望むべくもありません。

それよりも多度津山のサッカー場の芝生化さえ完成すれば、町内の全ての園児達、児童達、生徒達の遠足や運動など裸足で駆けまわられる格好の教育現場になりましょう。

その姿を思い描いて考えただけでもわくわくしませんか。

本件は教育施設整備です。

田尾教育長いかがですか。

お気持ちをお聞かせください。

教育長（田尾 勝）

小川議員の質問にお答えします。

小川議員の今日の情報提供の中にもあったんですけども、本当に芝生化によって多様な教育活動が展開できるなあと思いました。

実際に幼稚園、小学校を少し見てみると一部分ではあるんですけども、四箇幼稚園の園庭に小さなんですけど芝生があります。

幼稚園の活動とか様子を見てみますと、やはりあそこが本当に子どもが寄って遊んで教育活動も展開している本当に素晴らしいなあと思いました。

小川議員さんも言われたように、本当は全ての幼稚園に作りたいというのが

あるわけですが、そういう場が多度津山のいい場所に芝生化されたそういう場が作られればスポーツだけではなくて、子ども達、特に小さな子ども達は特に裸足で歩くことは健康にもいいし、子どもの教育にもいいのではないかなと思っています。

ぜひそういう活用のアイデアも教育課としては出しながら、芝生化に向けて政策企画課とか総務課とも連動しながら一緒に考えていきたいなと思っています。

議員（小川 保）

ありがとうございます。

田尾教育長がお話された内容は、実は文科省のサイトに載っております。

公立学校の施設整備一般という項目で載っております。

この中に校庭の芝生化についてのQ&Aも載っております。

この内容についてちょっと紹介させていただきます。

「校庭の芝生化について教えてください。」という質問が入っております。

それに対して文科省の回答が、「校庭はこれまで土のグラウンドが一般的でしたが、近年芝生で整備する学校が増えてきています。芝生化には以下のような効果があり、文部科学省としてもその整備推進を図っています。教育上の効果、芝生の弾力性がスポーツ活動に安全性と多様性をもたらす。環境教育の生きた教材として活用でき、それから環境保全上の効果として強風時における砂塵の飛散防止、降雨時における土砂の流出防止、夏季における照り返しや気温上昇の抑制、地域のスポーツ活動の活発化、幼児から高齢者までの様々なスポーツを安全かつ快適に実施でき、校庭の芝生化につきましては安全安心な学校づくり交付金における屋外教育環境施設の整備で補助を行っております。」というふうに、これはサイトを見たら皆さんどなたでも確認できると思います。

ぜひ色々参考にしていただいて、これ私本当に申し上げます。

ぜひ山の上に芝生は作ってほしいです。

お金の問題、たくさん難しい問題があろうかと思いますが、町長、ぜひともよろしく願いしたいと思います。

以上で私の質問は終わります。

ありがとうございました。

議長（志村 忠昭）

これをもって、7番小川保議員の質問を終わります。

これで昼の休憩に入りたいと思います。

再開は、13時にしたいと思います。

よろしくお願い致します。